「道の駅美良布」防災倉庫贈呈式

３月３０日、『道の駅美良布』にて防災倉庫及び防災備品の贈呈式が行われました。
『道の駅』の防災機能強化のため、令和４年度四国『道の駅』防災に関する助成事業として採択され、一般社団法人　四国クリエイト協会から防災倉庫と防災備品（発電機・ポータブル電源+ソーラーパネル・緊急対策用トイレ）が寄贈されました。
　寄贈された備品は防災用としての備えはもちろんですが、地域のコミュニティ活動などにも積極的に活用する予定です。

大栃小学生からの寄贈

３月２０日、大栃小３・４年生の６人から、ふるさと市と大栃駅に案内看板を、また大栃小５・６年生の６人が、ふるさと物産館にテーブルとゴミ箱、ダム湖に啓発看板を寄贈しました。
　これは、総合学習で山の仕事を学び、地域の役に立ちたいという思いから計画され、物部森林組合の方に指導を受けながら、くぎを打ったり、上塗りをしたり、サンドペーパーで磨くなどして作成しました。
　愛らしい看板やゴミ箱、そして美しい風合いのテーブルは物部のダム湖をより彩っています。

大宮小学校５年生の地産地消体験！

この体験学習は、地元農家で構成される本田集落協定の協力のもと、もち米の栽培を体験し、普段何気なく口にしている食物が作られる過程やその大変さを学んで、『食』を大切にする心を養うことを目的に行われている行事です。
　昨年度は、参加児童のなかから、収穫したもち米を地元の食堂で活用してもらおうというアイデアがあり、３月６日におすそ分け食堂『まど』（香北町韮生野）へ、もち米の寄付をし、併せて餅つき体験を行いました。児童たちは、地元の農家や食堂の方々から作業の意味やコツなどを教えてもらいながら、もち米の栽培・加工・消費の過程を体験したことで、作物を作る楽しさを感じつつも、日頃の『食』は、いかに多くの人が関わって、努力や工夫を重ねて支えられているのかという厳しさも学んだようでした。

まちの話題

民生委員・児童委員功労者　厚生労働大臣表彰

１月１７日、社会福祉功労者の厚生労働大臣表彰伝達式が高知県庁で行われ、香美市からは宮地亀好さん（土佐山田町）が表彰を受けました。
　宮地さんは、長年、民生委員・児童委員として、地域の子どもや高齢者、障害者等の見守り活動や住民からの相談など、精力的に社会福祉活動を行われています。

大栃中学生が考案「新・塩の道弁当」おひろめ市

３月２５日、桜の花が咲き始めた「奥物部ふるさと市」前で、大栃中学３年生（令和４年度時点）が考えた『新しい塩の道弁当』を販売する『おひろめ市』が開催されました。
　生徒たちは３年間、地域学習で『塩の道』について学んできました。『塩の道』の歴史、保存会の取組み、次世代継承や未来に向けて『道』を繋いでいくために、様々なアイデアを出して活動してきました。
　今回は、それらの活動の集大成として、『若い世代にも親しまれるお弁当』を開発して、より多くの人に塩の道を知ってもらうということにチャレンジしました。

世界を魅了するマジックに大歓声！！

３月１２日に中央公民館で、香美市在住のマジシャンＴＯＫＹＯ　ＴＯＭＯさんのグランドマジックショーが開催され、約１５０人の観客が集まりました。
　カードや球を使ってのマジックから始まり、ボールや目覚まし時計、大きな風船、飲み物が入ったグラスなどが次々と出てくる帽子『メリケンハット』を披露。また、布にくるまれたはずのＴＯＭＯさんが消え、別の女性が布の中から現れたりなど、コミカルで不思議なマジックの数々に、満席の客席から大きな歓声と拍手が送られました。
　ＴＯＭＯさんは、これまでも世界的な大会で数多くの受賞をされており、今年は８月から３カ月間、ドイツの名門劇場で公演をされるとのこと。ますますの活躍が期待されます。

香美市スポーツ少年団連絡協議会表彰

３月１９日、香美市スポーツ少年団連絡協議会から、鏡野道場（剣道）の竹﨑莉夢さん（香長小学校６年生）が優秀賞の表彰を受けました。
　この表彰は、県大会等で優勝するなど優秀な成績や記録を収めたスポーツ少年団の個人等に贈られるものです。
　受賞された竹﨑さんの今後ますますのご活躍をお祈りします。